

高専生の「ヒラメキ!!」が  
社会を変える!

創造的思考力と実践技術の  
優れた高専生を発見したい!

学生のイノベーション  
活動を観たい!

分野は...

建設系、設備システム系、  
農業系、医療系、  
教育系、介護支援系、  
地域活性化系、  
食品加工系 ... 等



令和2年度

# 社会実装教育 フォーラム ONLINE

全国の高専生がイノベーション創出に挑戦し、  
その活動を発表してコンテスト形式で評価する!

1日目

令和3年

**3月5日(金)**

■学生チームがイノベーション創出に  
挑戦し、その活動を発表します。

【前半】ショート・オーラル発表

【後半】ポスター発表

2日目

令和3年

**3月6日(土)**

■優秀チームによるファイナル発表

■特別講演会

講師 谷口 功 氏

国立高等専門学校機構理事長

特設会場

**Microsoft Teams**  
を用いたオンライン  
形式での開催

主 催 東京工業高等専門学校

共 催 一関工業高等専門学校・小山工業高等専門学校・長野工業高等専門学校

後 援 一般社団法人東京高専技術懇談会、八王子商工会議所、相模原商工会議所

審査員長 佐藤 知正 氏(東京大学名誉教授・元日本ロボット学会会長)

詳細については随時 HP でお知らせ致します

【お問合わせ先】東京工業高等専門学校 総務課 総務企画係

〒193-0997 東京都八王子市梶田町 1220-2 Email : kikaku@tokyo-ct.ac.jp

Tel : 042-668-5116 (平日 9 時 ~ 17 時) <https://www.tokyo-ct.ac.jp/>





# 社会実装教育とは

「社会実装教育」とは、学生が自ら社会ニーズを発見し、社会と向き合い、学外協力者と価値創出までを取組む教育です。総合的学習経験を通じ、実践技術、創造的思考力、コミュニケーション力等を育みます。

「社会実装教育フォーラム」はその成果を発表する場です。本フォーラムは、単に成果を競うだけではなく、産学官連携を深める場となっています。

いろんなユーザーの  
意見を聴いて



STEP 4

評価を得る

こんなのがあったら  
社会の役に  
立つかも

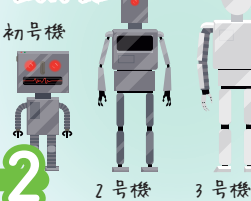


STEP 1

課題の把握



いろんな  
試作機



STEP 2

提供する価値を考察する



改良を繰り返し  
実際に使って  
もらいます



STEP 3

社会に導入する

## 取組事例1

### 視覚障がい者導きシステム

#### 高精度な位置測位

準天頂衛星「みちびき」と点字ブロックに  
敷設されたRFIDタグによる位置測定  
→視覚障がい者の位置を正確に特定！

準天頂衛星「みちびき」



安全

UHF帯RFIDタグ



盲学校教員（ユーザー）にシス  
テムの使い方を説明する高専生



京王線北野駅前に RFID タグ付  
き点字ブロックを設置して実証  
実験する様子

## 取組事例2

### 小学校安全マップ作成支援システム



①避難経路登録



②危険・安全な  
場所の登録



③安全マップを  
クラスで共有



小学校で地域安全マップ作成支  
援システムの使い方を児童に説  
明する高専生



児童や小学校教員（ユーザー）  
に利用してもらい、使いやすさ  
などの評価を受ける

## ◆令和2年度社会実装教育フォーラム(予定)

令和3年  
3月5日  
(金)  
[1日目]

■学生チームがイノベーション創出に  
挑戦し、その活動を発表します。  
【前半】ショート・オーラル発表  
【後半】ポスター発表

令和3年  
3月6日  
(土)  
[2日目]

■優秀チームによるファイナル発表  
■特別講演会  
講師 谷口 功 氏  
国立高等専門学校機構理事長